

伊丹市交通局

70周年記念「市バストミカ」好評にて完売

1 伊丹市営バスの「市バストミカ」を発売

伊丹市交通局では、事業開始70周年を記念し、市民から親しまれ、市内の風景の一部として身近に愛されている市営バスの「トミカ」を発売しました。

「トミカ」は(株)タカラトミーとタイアップして製作したもので、いすゞ製の路線バス、エルガ(型式:2DG-LV290N2)を忠実に再現しました。

(1) 発売日 令和元年7月24日(水)

(2) 価格 990円(税込)

(3) 発売場所 伊丹市交通局広畑営業所をはじめ、「できるだけ多くの市民に購入してもらいたい。」という交通局の思いに賛同していただき、市内のセブン-イレブン(17店舗中11店舗)、市立観光物産ギャラリー、伊丹商工会議所で発売頂きました。



発売したトミカは、ダイキャスト製の精密なモデルで、バス利用の市民の皆様等から大変な好評をいただき、市立観光物産ギャラリー、伊丹商工会議所とセブン-イレブンのほとんどの店舗では、即日完売でした。9月上旬には、広畑営業所でも完売となり、すべての販売を終了しました。

2 伊丹市営バスについて

(1) 交通事業の開始

伊丹市営バスは、1949(昭和24)年

1月5日、三菱電機伊丹製作所で製造された電気バス4輦でスタートしました。

終戦直後の伊丹市では、戦前にあった民営バスの運行が途絶えたままで、公共交通機関が大変不便な状況であったため、市がバス事業に乗り出すことになったものです。

(2) 現在の伊丹市営バス

当初は、阪急伊丹駅から昆陽里、西野、荒牧、緑ヶ丘を経て同駅に戻る延長16キロの1系統だけでしたが、現在では、25平方キロメートルの市域を45の系統、総延長79.0キロの路線網が網の目のように張りめぐらされ、市民の貴重な交通手段となっています。

創業当時の電気バス(昭和24年)



伊丹市内を初めとして、隣接している尼崎市や宝塚市・川西市への路線があり、「伊丹空港」の通称で呼ばれている大阪国際空港への路線が大阪府豊中市に乗り入れています。

伊丹市交通局では、平成28年から10年間を計画期間とする「伊丹市交通事業経営戦略」に基づいて、人口減少社会への突入等、厳しさを増す経営環境の変化に対応するため、10年間の投資・財政計画と5年毎に見直しを行う個別行動計画を策定しています。これからも市民・利用者の皆様の利便性向上に取り組んでまいります。

(問い合わせ)

伊丹市交通局 企画営業課

電話 072-781-3753